一般会計当初予算は 236 億 200 万円

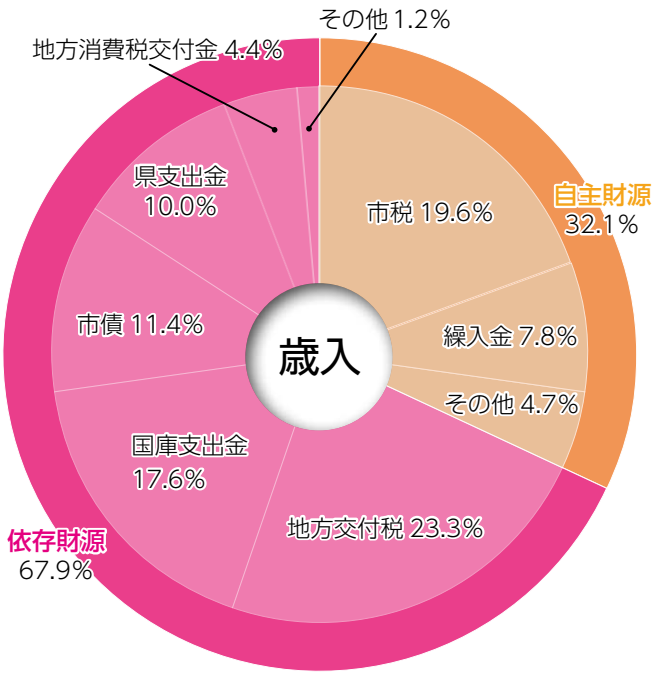
市民目線に立った、オンリーワンの島原市の実現を目指して

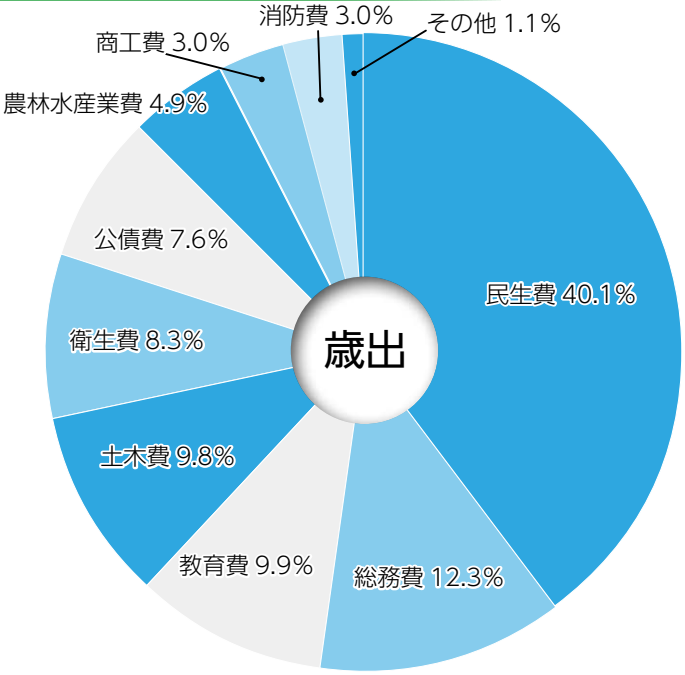
令和２年度当初予算が決まりました。

予算編成に当たっては、「安全・安心なまちづくり」の推進を目的とした市街地中心部道路などの整備や、小中学校の非構造部材耐震化事業をはじめ、本市の喫緊の課題である人口減少や地方創生に対応するために、「移住、定住、婚活」に重点を置いた内容としています。

①市民目線に立った行財政改革の推進
②産業の振興と島原地域ブランドの確立
③歴史と文化を活かした観光都市づくりと交流人口の拡大
④高齢者や障害者などを思いやる福祉の充実
⑤子育てにやさしいまちづくり
⑥島原の将来を担う子どもを育てる教育の充実
⑦安全で安心して暮らせる快適なまちづくり

一般会計総額　236 億 200 万円（前年度比 0.9%減）





■歳入の状況

総　額	236 億 200 万円
地方交付税	55 億円
市税	46 億 2833 万円
国庫支出金	41 億 4645 万 8 千円
市債	26 億 9060 万円
県支出金	23 億 4584 万 4 千円
繰入金	18 億 3674 万 1 千円
地方消費税交付金	10 億 4000 万円
その他	14 億 1402 万 7 千円

■歳出の状況

総　額	236 億 200 万円
民生費	94 億 5628 万 1 千円
総務費	29 億　492 万 7 千円
教育費	23 億 3346 万 7 千円
土木費	23 億 2338 万 5 千円
衛生費	19 億 5525 万 8 千円
公債費	17 億 9350 万円
農林水産業費	11 億 5332 万 8 千円
商工費	7 億 2076 万 9 千円
消防費	7 億　658 万 7 千円
その他	2 億 5449 万 8 千円

令和２年度

島原市のお財布事情

■市民一人当たりに使われる予算額　529,026 円

民生費
障害者福祉、児童福祉、高齢者福祉、生活保護など

211,957 円

総務費
市の管理事務や企画、統計事務など

65,112 円

教育費
学校・社会教育の振興、文化財保護、文化・スポーツの振興など

52,303 円

土木費
道路、公園、市営住宅の整備・管理など

52,077 円

衛生費
健康増進、母子保健、廃棄物処理、公害対策など

43,826 円

公債費
公共施設整備などのために借りた市債の償還

40,200 円

農林水産業費
農林水産業の振興

25,851 円

商工費
観光事業や商工業の振興、物産流通

16,155 円

消防費
消防や防災事業など、市民の安全

15,837 円

■市民一人当たり・一世帯当たりの負担額

負担額	一人当たり	一世帯当たり
市税	9万617円	20万4017円
市債	53万4083円	120万2443円

○市税…市民皆さんから市に納められる税金

○市債…特定の建設事業を行う際、その費用を賄うため銀行などから借りるお金

※令和２年４月１日現在の人口と世帯数（人口44,614人、世帯数19,816世帯）で算出
※市税は、個人市民税・固定資産税（交付金納付金は除く）・軽自動車税・都市計画税の予算額の合計で、滞納繰越分を除いて算出。市債は令和２年度末残高見込額で算出

特別会計総額　76億6617万円（前年度比1.0%増）

会計別	予算額
国民健康保険事業	69億91万8千円
温泉給湯事業	1億2921万2千円
後期高齢者医療	6億3604万4千円

特別会計は特定の事業を行う場合や特定の収入を特定の支出に充てる場合に、一般会計とは別に、その経理を明らかにするために設けた会計です。

令和２年度の主な事業

新＝新規事業

①市民目線に立った行財政改革の推進

・新庁舎整備事業　3億1523万円
　既存新館（大手庁舎）の解体や、海側の駐車場整備工事を行います。
・ふるさとしまばら寄附金事業　2億9429万円
新・国勢調査　2026万円

新庁舎（北西側）

②産業の振興と島原地域ブランドの確立

新・地場産業事業承継促進事業　200万円
　地場産業の事業承継を行う事業者に対し、県と連携した支援を行い、地域産業の振興、移住・定住の促進を図ります。
・企業立地促進・雇用創出事業　1146万円
・畜産クラスター構築事業　4億3980万円

③歴史と文化を活かした観光都市づくりと交流人口の拡大

・ロケツーリズムによる島原魅力アップ事業　933万円
　地域資源を活用し、映画やテレビ番組などの撮影誘致・支援を行い、作品を通した情報発信で本市の魅力や認知度の向上、市民の地域に対する愛着の高まりを目指します。
・九州オルレ「島原コース」推進事業　249万円
・島原城築城400年記念事業　300万円

九州オルレ「島原コース」

④高齢者や障害者などを思いやる福祉の充実

・検診事業　9436万円
　がんなど疾患の早期発見・早期治療につなげ、がんの予防に関する知識の普及・啓発を行うことにより、市民の健康増進を図ります。
・高齢者福祉交通機関利用助成事業　2581万円
・ねたきり老人等介護見舞金支給事業　875万円

⑤子育てにやさしいまちづくり

・保育所等副食費助成事業　3888万円
　令和元年10月からの幼児教育・保育の無償化に伴い、保護者負担が発生する副食費について助成を行い、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ります。
・すこやか子育て支援事業　6899万円
・しまばら結婚サポート事業　505万円

元気に遊ぶ園児たち

⑥島原の将来を担う子どもを育てる教育の充実

・非構造部材耐震化事業　4億6020万円
　未整備の小中学校校舎非構造部材（外壁）の改修を行い、防災機能を強化し、教育環境の改善を図ります。
・小・中学校エアコン更新事業　1億2335万円

⑦安全で安心して暮らせる快適なまちづくり

新・移住者向け住宅確保加速化支援事業　116万円
　空き家を借り上げ、移住者のニーズに応じた改修を行い提供する事業者（空き家活用団体）に対し、改修経費等を県と連携して支援し、移住者の増加につなげます。
・堀町縦線整備事業　4億2003万円
・船津地区の恒久的な高潮対策　2億3000万円
・コミュニティバス運行事業　2180万円

市コミュニティバスたしろ号

※「令和２年度当初予算概要」および「主要事業説明書」など詳しい内容は、市ホームページをご覧ください

島原市予算　検索

▶問い合わせ先　総務課財政班（☎内線152）